

平成30年度 法人本部事業計画書

社会福祉法人 青葉福祉会

一 基本理念

福祉の原点を「自分が幸せでありたいと思うこと。そして、大切な人に幸せであってほしいと願うこと。」と考える「生涯福祉理念」に基づき、乳幼児から終末を迎えた高齢者まで幅広く福祉サービスを提供することによって、社会福祉法人の使命である高い公共性を確保し、人々が安全で安心して暮らせる豊かな生活の実現を目指す。

また、高齢者福祉事業では「お年寄りの尊厳と習慣をお守りする」、児童福祉事業では「子どもたちの尊厳と習慣を育む」、生活困窮者の事業では「人々の尊厳と習慣の再構築を支援する」を事業理念とし、法人理念の実現を目指す。

二 本年度の重点目標

1. 経営改善

法人理念を実現させるためには経営改善が必須であり、本年度の再重点目標を経営改善とする。経営改善によって成果を残す体質を継続することが以下の目標を実現させる担保となり、経営企画室を中心として法人全体が全力で経営改善に取り組む。

2. 公益的取り組みの推進

改正社会福祉法の対応が概ね一段落したが、社会福祉法人の使命としての公益的取り組みをこれまで以上に推進させる。

一事業一実践の取り組みと複数法人間連携事業の実施に努める。

3. 職員確保・離職防止・育成の取り組み

経営改善を重点目標としながらもこれらの取り組みは急務の課題であり、平行して取り組む。

最終的に目指す法人像は、

- ・支援を必要とする人が「青葉福祉会に相談したい」「青葉福祉会に相談して良かった」と思ってもらえる法人
- ・福祉に関わる誰もが「いつかは青葉福祉会で働きたい」と思ってもらえる法人、職員にとって働きやすい法人

である。

三 具体的取組

1. 経営改善

①法人本部に企画部を配置

→企画提案に関する部署を独立して設けることで、従来の概念にとらわれることのない自由な発想で提案を行い、時代の変化に対応するスピーディな活動を推進することを目指す。

→企画部の配置に伴い法人組織体制の見直しを図る。

②経営企画室が提案する事業計画

→前年度は「高齢部全事業の黒字化」を目標として取り組んだが、十分な結果が得られなかったため、あらためて計画を作成提案し、収支改善が実現できるように取り組む。

→会計基準をベースとして収支管理では不十分であり、前年度より着手した管理会計をより現実的な内容とすることで正確な分析と対策を講じることを目指す。

→管理会計による収支改善実現のために全職員が理解して取り組むことができるための環境作りを進めていく。

③収支改善の実現を前提とした計画的資金繰りの実施

→収支改善を実現することで職員の待遇改善を図るほか、法人本部の運営資金を各事業から計画的に繰り入れし、建て替えや大規模修繕に向けた積立を計画的に実施していく。

2. 公益的取り組みの推進

①一事業一実践の取り組み

→法人内全事業が、各事業が置かれている地域のニーズに応じた公益的取り組みを最低一事業は実践することを目指す。

②複数法人間連携事業の取り組み

→各種別団体等への参画などを利用し、当会以外の法人等との連携による事業を行うことにより、地域に対して幅広く福祉ニーズに対応できる体制作りを努める。

これら取り組みは、国民の理解を深めるために現況報告書やホームページ等において広く公開していく。

3. 職員確保・離職防止・育成の取り組み

- ①「働き方の指針」「業務標準マニュアル」を中心とした人事考課制度全般の見直し
 - 本年度中に仮運用と協議を完了させ、平成31年度より本施行する。
 - 理事長による誕生日研修の実施をはじめとした職員全員への理念浸透を図りながら、次世代管理職や施設長の育成のために内部研修の充実を図る。

- ②給与規程の見直し

- 新人事考課制度と連動した給与の仕組み、諸手当の見直しを含めて最終的には新旧規程の統合を目標とする。これらを完了させるには原資の確保が必須となる要素が多く、業績の動向を十分把握したうえで進めていく。本年度は概ねの方向性を固めながら、平成31年度は現実に可能な範囲から実施し、その後段階的に改正を行っていく予定。

- ③職場環境の見直し

- 子育て世代や家族に介護が必要な職員等への支援や休みのとりかた・働き方などについて規程改正を含めて見直しを行うことで、どのような立場の職員でも働きやすい職場となるように取り組む。

- ④職員確保活動の強化

- 保育・介護とも人材確保が深刻な状態であり、コンサルタントの支援を受けながら組織的計画的に実施して各事業経営に支障のない人材が確保できるように取り組む。各事業より求人活動担当職員を選抜し、市内県内だけではなく県外へも活動の幅を広げる。法人ホームページの全面リニューアルやSNSなどネットによる求人活動にも力を入れるとともにハローワークや各種学校との連携を強めるなど、でき得る限りの求人活動を実施していく。

4. その他

- ①コンプライアンス（法令遵守）

- 各種法令に対応した規程の整備

- ②内部統制の確立

- 改正社会福祉法にも規定されている内部統制について、各種規程の整備を含めて体制の確立に取り組む。

- ③会計監査人による監査に向けた準備（内部統制を含む）

④広報活動

→法人ホームページや SNS、各種団体のホームページ等において当会の取り組みを広く公開していくことで、国民の社会福祉法人や当会に対する理解を深めてもらえるよう努めていく。これは、学生など若い世代に訴求することで、人材確保にもつなげていくことも狙いとしている。

⑤奨学金事業（公益事業）

- ・審査基準や貸与学校等の見直し

⑥収益事業

- ・安定した収益の確保、利益の適正な活用
- ・新規収益事業の計画
- ・収益事業物件（土地建物）の他事業等への活用検討

四 事業

1. 軽費老人ホームケアハウス 光陽ホーム
2. 軽費老人ホームケアハウス 青葉ハイツ
3. 光陽ホーム 特定施設入居者生活介護事業
4. " 介護予防特定施設入居者生活介護事業
5. 特別養護老人ホーム アルテイル青葉
6. 地域密着型特別養護老人ホーム アルテイル宮町
7. アルテイル青葉 短期入所生活介護事業
8. " 介護予防短期入所生活介護
9. アルテイル24 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業
10. アルテイル宮町 短期入所生活介護事業
11. " 介護予防短期入所生活介護
12. 三居沢デイサービスセンター 通所介護事業
13. " 介護予防通所介護事業
14. 青葉の風 認知症対応型共同生活介護事業
15. " 介護予防認知症対応型共同生活介護事業
16. ヘルパーステーション青葉の家 訪問介護事業
17. " 介護予防訪問介護事業
18. はちまんの風 認知症対応型生活介護事業
19. " 介護予防認知症対応型共同生活介護事業
20. 八幡デイサービスセンター 通所介護事業
21. " 介護予防通所介護事業
22. 八幡訪問看護ステーション
23. 保育所 青葉保育園

- 24. " " 一時預かり事業
- 25. " 荒井青葉保育園
- 26. " " 一時預かり事業
- 27. " 栗生あおば保育園
- 28. " " 一時預かり事業
- 29. " " 学童保育事業
- 30. " 八木山あおば保育園
- 31. " " 一時預かり事業
- 32. 路上生活者等自立支援ホーム 清流ホーム
- 33. 巡回相談事業 (清流ホーム)
- 34. 無料職業紹介事業 (清流ホーム内事業)
- 35. 三居沢居宅介護支援センター 居宅介護支援事業
- 36. 八幡居宅介護支援センター 居宅介護支援事業
- 37. 教育研修事業 (初任者研修養成講座事業を含む)
- 38. 福祉有償運送事業
- 39. 奨学金貸与事業
- 40. 賃貸事業 花京院マンション・地下店舗・駐車場
- 41. 学生寮 フレンドル八木山
- 42. " エクレール青葉

以上